

市川市文学ミュージアム企画展

山本高樹

昭和幻風景

ジオラマ展



山本高樹「京成八幡駅界隈 昭和幻風景」2013年 / 撮影：相沢邦広

2016年9月17日(土)～11月27日(日)

開館時間 10:00～19:30 (土日祝日は18:00まで) ※入室は閉館時間の30分前まで
休館日 月曜日 (9月19日、10月10日は開館) 及び9月20日・30日、10月11日・28日
観覧料 一般500円 (400円)、65歳以上400円、高大生250円 (200円)
中学生以下無料 ※() は25名以上の団体料金

- ◆障害者手帳をお持ちの方と付添の方1名無料
- ◆いちかわエコボカード (満点カード1枚) で1名無料
- ◆市川市文学ミュージアムと東山魁夷記念館2館に来館の場合は観覧料割引あり

主催：市川市 企画制作：リンクス・アソシエーツ
協力：千葉商科大学



市川市文学ミュージアム
Ichikawa City Museum of Literature

山本高樹

昭和幻風景 ジオラマ展



山本高樹 プロフィール

1964年 市川市東菅野生まれ
映像専門学校を卒業後、映像美術の事に携わる
2001年より一連のジオラマ作品「昭和の心象風景シリーズ」の制作を開始
2012年 NHK連続テレビ小説「梅ちゃん先生」のタイトルジオラマ制作
著書として『昭和幻風景』（2012年 大日本絵画）がある

市川市出身のジオラマ作家 山本高樹は、昭和の町並みとそこに住まう人々をテーマにジオラマ作品を作り続けています。

山本高樹のジオラマは、単にモチーフを縮小しただけではなく、昭和という時代の持つ空気感をも再現した作風で高い評価を得ています。また作品の多くには、市川にゆかりの深い作家 永井荷風が佇んでいます。

本展では、市川ゆかりの作品である京成八幡駅界隈のジオラマをはじめ、これまでに山本が制作したジオラマ約25点と共に、愛用の道具や写真資料、イラストなどを展示し、ジオラマ作品の魅力とその制作の裏側に迫ります。

関連イベント

1. 対談「ジオラマの魅力」（要申込）

2016年10月29日（土）14:00～

対談：山本高樹氏、壬生篤氏（作家、雑誌「荷風！」元編集長）

会場：市川市生涯学習センター2階 グリーンスタジオ

定員：220名 申込締切：10月14日（金）必着

2. 担当学芸員によるギャラリートーク（申込不要）

2016年9月24日（土）、10月8日（土）、11月3日（祝・木） 各日14:00～

会場：市川市生涯学習センター2階 企画展示室

3. 千葉商科大学 政策情報学部学生によるイベント（申込不要）

●ワークショップ「ペーパークラフトで昭和を感じよう」

2016年10月8日（土）、9日（日）、23日（日） 各日10:00～15:00

会場：市川市生涯学習センター2階 メディアパレス

●写真撮影イベント「ジオラマの世界に入ろう」

2016年10月22日（土）、23日（日）、11月26日（土）、27日（日） 各日13:00～16:00

会場：市川市生涯学習センター3階 和室研修室

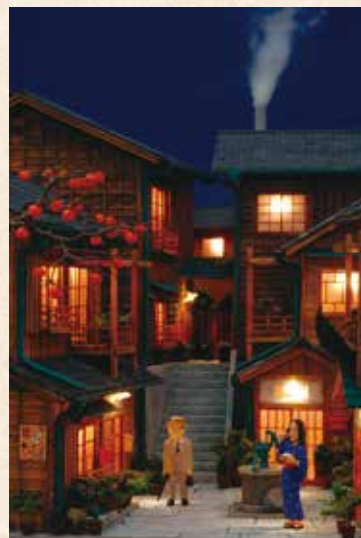
●クイズラリー「〇〇を探そう！」

会期中開催 各日10:00～17:00

会場：市川市生涯学習センター2階 企画展示室



山本高樹「昭和不忍慕情 上野」2010年



山本高樹「路地奥の井戸広場 本郷」2005年

＜申込方法＞

往復はがきまたはFAXにて、①イベント名（1通につき1イベント） ②氏名・ふりがな（2名まで連名可）

③年齢 ④郵便番号・住所 ⑤電話番号（FAX応募の場合はFAX番号も）を明記の上、

〒272-0015 市川市鬼高1-1-4 生涯学習センター2階（FAX: 047-320-3356）市川市文学ミュージアム

「山本高樹展」関連イベント係までお送りください。

※応募者多数の場合は抽選を行います。

※ワークショップ、写真撮影イベントを除く、イベント参加の場合は観覧券が必要です（観覧済みでも可）。

但し、展示室への入室は当日の観覧券が必要です。

※締切後でも定員に余裕がある場合は、電話にて申込みを受け付けます。



【JR総武線】本八幡駅・下総中山駅より徒歩15分

【都営新宿線】本八幡駅より徒歩20分

【京成線】鬼越駅より徒歩10分



市川市文学ミュージアム
Ichikawa City Museum of Literature

〒272-0015 千葉県市川市鬼高1-1-4 生涯学習センター（中央図書館）2階

TEL: 047-320-3334 FAX: 047-320-3356 <http://www.city.ichikawa.lg.jp/litera/>